奈良県立医科大学附属病院
Nara Medical University Hospital

安全で安心できる
最善の医療を提供する



Hospital Information 2026

病院案内

理念・方針
行動指針

患者と心が通い合う人間味あふれる医療人を育成し、
地域との緊密な連携のもとで奈良県民を守る
最終ディフェンスラインとして、
安全で安心できる最善の医療を提供します。

方針

1. 奈良県民を守る「最終ディフェンスライン」の実践

奈良県内唯一の特定機能病院として高度医療・先端医療を推進します。また高度救命救急センターに加え、ER 救急の整備等により救急医療体制を強化するとともに、奈良県基幹災害拠点病院として、奈良県民を守り地域の安心の確保に貢献します。

2. 奈良県内基幹病院としての機能の充実

5 疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）をはじめとするあらゆる疾患に着実に対応するとともに、患者安全の取組を推進し、奈良県内基幹病院としての役割を果たしていきます。

3. 地域医療機関との機能分担、緊密連携の推進

地域医療機関との適切な機能分担と緊密な連携を推進し、地域医療を支えます。

4. 各領域の担い手となる医療人の育成

附属病院における卒後教育を通じて、超高齢社会に対応する地域包括ケアシステムをはじめ各領域の担い手となる患者と心が通い合う医療人を育成し、地域医療の向上に貢献します。

行動指針

- 病状や治療方針を分かりやすく説明し、安全で質の高い医療を提供します。
- 高度で先進的な医療を提供します。
- 医の倫理にしたがい、患者さんの意思と権利を尊重し、心の通い合う医療を提供します。
- 県における基幹病院として、地域の医療機関との連携を図り地域医療に貢献します。
- 臨床教育を充実し、人間味豊かで県民から信頼される優秀な医療人を育成します。

病院機能

特定機能病院
災害拠点病院（基幹災害医療センター）
高度救命救急センター
第一種・第二種感染症指定医療機関
基幹型臨床研修病院
特定承認保険医療機関（高度先進医療）
エイズ中核拠点病院
精神科救急医療施設

都道府県がん診療連携拠点病院
奈良県難病診療連携拠点病院
がんゲノム医療拠点病院
肝疾患診療連携拠点病院
総合周産期母子医療センター
認知症疾患医療センター（基幹型）
難病の患者に対する医療等に関する法律第14条第1項の規定による指定医療機関

児童福祉法第19条の9第1項の規定による指定小児慢性特定疾病医療機関
小児がん連携病院

当院は奈良県唯一の特定機能病院です

「特定機能病院」は、以下の条件等をすべて満たし、厚生労働大臣の承認を受けた病院のことです。

1. 高度の医療を提供・評価・開発・研修することができる
2. 内科・外科など主要な10以上の診療科がある
3. 病床（ベッド数）が400以上ある
4. 集中治療室などの高度な医療施設や機器がある
5. 医師、看護師、薬剤師等が特定数以上配置されている　など



日本医療機能評価機構認定証

標榜科・部門

診療科

循環器内科、呼吸器・アレルギー内科、脳神経内科、消化器・代謝内科、感染症内科、
消化器外科・小児外科・乳腺外科、脳神経外科、心臓血管外科、整形外科、眼科、小児科、
歯科口腔外科、産婦人科、精神科・児童精神科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、
放射線治療科、麻酔科、放射線・核医学科、救急科、総合診療科、病理診断科、形成外科、
呼吸器外科、リハビリテーション科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、腫瘍内科、血液内科

中央部門

中央臨床検査部、輸血部、中央手術部、集中治療部、中央放射線部、中央内視鏡部、透析部、
病院病理部、医療情報部、入退院等支援部、高度救命救急センター、総合周産期母子医療センター、
精神医療センター、緩和ケアセンター、移植細胞培養センター、小児センター、
メディカルバースセンター、ペインセンター、先天性心疾患センター、周術期管理センター、
IVR センター、玉井進記念四肢外傷センター、総合画像診断センター、めまい・難聴センター、
高度治療技術センター、認知症センター、脳卒中センター、乳腺センター、中央材料室、
遺伝医療センター、高度生殖医療センター、がん相談支援センター、リウマチセンター、
肝疾患相談センター、睡眠医療・呼吸管理センター、小耳症　かたちと聞こえのセンター

その他部門

薬剤部、看護部、栄養管理部、病院事務部、医療クラーク部、臨床研修センター、医療技術センター、
臨床研究センター、医療の質・安全管理センター、看護師特定行為支援センター、感染管理室

ご挨拶

奈良県の基幹病院として、さらに先進医療の発信・実践を行うトップレベルの医療機関として機能するよう、職員一同努力して参ります。
皆様方のご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。

奈良県立医科大学附属病院
病院長　吉川 公彦



沿革・実績紹介

入院患者 延数

令和６年度
279,897 人

令和７年度
289,403 人

１日平均入院患者数

令和６年度
767 人

令和７年度
793 人

平均在院日数

令和６年度
11.1 日

令和７年度
10.6 日

外来患者 延数

令和６年度
570,973 人

令和７年度
564,791 人

昭和 20 年 4 月	奈良県立医学専門学校附属病院開設（8 診療科 215 床）
昭和 22 年 7 月	奈良県立医科大学附属病院に名称変更
昭和 32 年 4 月	県立橿原診療所、県立橿原精神病院を医科大学附属病院に合併（642 床となる。）
昭和 33 年 3 月	附属病院南病棟竣工
昭和 35 年 3 月	附属病院北病棟及びがん治療棟竣工
昭和 37 年 11 月	病院診療管理棟及び給食棟竣工
昭和 38 年 3 月	サービス棟竣工
昭和 38 年 8 月	臨床研究棟（現：医局棟）竣工
昭和 41 年 9 月	D 病棟竣工
昭和 43 年 3 月	中央臨床検査棟竣工
昭和 43 年 4 月	附属がんセンター設置
昭和 56 年 9 月	A 病棟竣工
昭和 56 年 10 月	中央診療施設設置
昭和 57 年 9 月	許可病床数 850 床となる。
昭和 62 年 2 月	MR-CT 棟竣工
昭和 63 年 3 月	附属病院中央手術場を 11 室に改修床
昭和 63 年 4 月	新生児病室を 15 床に増床、全 855 床となる。
平成 2 年 3 月	救急棟竣工、全 870 床となる。
平成 6 年 3 月	サービス棟竣工
平成 6 年 8 月	エイズ拠点病院選定
平成 6 年 9 月	無菌室設置、骨髄移植開始
平成 8 年 2 月	特定機能病院の承認を受ける。
平成 8 年 11 月	災害拠点病院（基幹災害医療センター）の指定を受ける。
平成 9 年 3 月	B 病棟竣工
平成 13 年 4 月	オーダリングシステム（医療情報システム）全面稼働
平成 15 年 10 月	C 病棟竣工、全 900 床
平成 15 年 11 月	第一種感染症指定医療機関の指定を受ける。
平成 16 年 3 月	基幹型臨床研修病院の指定を受ける。



1日平均外来患者数

令和6年度
2,350人

令和7年度
2,334人

中央手術部手術件数

令和6年度
8,793件

令和7年度
9,379件

救急搬送受入数（救急車・ドクターカー・ドクターヘリ）

令和6年度
6,931件

令和7年度
5,688件

分娩件数

令和6年度
813件

令和7年度
906件

平成16年6月	高度救命救急センター移転増床稼働
平成16年12月	定位放射線治療（ノバリス）棟竣工
平成17年1月	地域がん診療拠点病院の指定を受ける。
平成18年7月	精神医療センター竣工、全930床となる。
平成19年3月	エイズ中核拠点病院選定
平成19年4月	地方独立行政法人に移行、全980床となる。
平成20年2月	都道府県がん診療連携拠点病院の指定を受ける。
平成20年4月	肝疾患診療連携拠点病院の指定を受ける。第二種感染症指定医療機関の指定を受ける。
平成20年5月	県から総合周産期母子医療センターの指定を受け、周産期医療センターを総合周産期母子医療センターに改組
平成22年11月	D棟改修、全978床となる。
平成23年5月	病院機能評価（Ver6.0）の認定を取得
平成25年8月	認知症疾患医療センター(基幹形)の指定を受ける。
平成25年11月	E棟竣工（一期）
平成26年12月	指定小児慢性特定疾病医療機関の指定を受ける。
平成27年9月	土日ER診療開始
平成28年9月	E棟竣工（二期）
平成30年2月	B・C棟屋上ヘリポート竣工
平成30年4月	がんゲノム医療連携病院の指定を受ける。
平成31年4月	奈良県難病診療連携拠点病院の指定を受ける。 奈良県アレルギー疾患医療拠点病院の指定を受ける。
令和2年3月	災害拠点精神科病院に指定を受ける。
令和4年4月	ER診療を24時間365日体制に拡大
令和5年4月	がんゲノム医療拠点病院の指定を受ける。
令和5年10月	高度生殖医療センター
令和7年4月	病院機能評価（3rdG：Ver.2.0）の認定を取得
令和7年9月	睡眠医療・呼吸管理センター
令和8年1月	小耳症　かたちと聞こえのセンター
令和8年4月	遺伝医療センター



診療科のごあんない

～主な治療実績など～

R7.6月時点

許可病床数　992床
従業員数（常勤換算）2603.6人
指導医数（医科）　177人
研修医の新規採用人数（医科）
初期　47人／後期　73人

詳細は、ぜひ当院のホームページ診療科・部門のご案内をご参照ください

循環器内科

断らない医療をモットーに、
24時間365日患者さんを受け入れています。

主な受け入れ実績

心筋梗塞	約150例／年	心不全	約200例／年
大動脈解離	約　20例／年		
狭心症　カテーテル治療			約350例／年
心房細動　カテーテルアブレーション			約300例／年
大動脈弁狭窄症　カテーテル治療			約　60例／年

検査・治療の一例

経皮的冠動脈形成術（PCI）
光干渉断層法（OCT）
経カテーテル的大動脈弁置換（TAVI）
カテーテルアブレーション
植え込みデバイス治療　等

呼吸器・アレルギー内科

各領域の専門医の資格をもち、
豊富な知識と経験を兼ね備えています。

主な受け入れ実績

肺癌、肺炎、気管支喘息、
COPD（肺気腫、慢性気管支炎）、
間質性肺炎、急性・慢性呼吸不全
胸膜炎、気胸、慢性気道感染、気管支拡張症
非結核性抗酸菌症

検査・治療の一例

呼吸機能検査
呼気NO、6分間歩行検査
化学療法（外来含む）、化学放射線療法
在宅酸素療法
気管支鏡検査　等

脳神経内科

専門的な神経診察と検査を行い、
多くの脳神経筋疾患の診断と最善の治療を行っています。

主な受け入れ実績

脳梗塞、パーキンソン病、片頭痛、
てんかん、髄膜炎、筋炎、
筋ジストロフィー、重症筋無力症、
多発性硬化症、脊髄小脳変性症、
筋萎縮性側索硬化症、末梢神経障害、
アルツハイマー型認知症

検査の一例

髄液検査、脳・脊髄MRI、脳血流シンチ、アミロイドPET、
筋電図、脳波、筋生検、脳血管造影検査など

主な実績

指定難病　申請・更新患者	約870名／年
脳梗塞・脳出血　新規入院患者	約120名／年
パーキンソン病・類縁疾患　通院患者	約500名
多発性硬化症・視神経脊髄炎・類縁疾患　通院患者	約140名
重症筋無力症　通院患者	約130名

消化器・代謝内科

１人１人の患者さんの価値観や気持ちに寄り添った診療を実践し、全人的な医療を目指しています。

主な受け入れ実績

消化管（食道・胃・小腸・大腸）・肝臓・胆道・膵臓の悪性腫瘍、ウイルス性肝炎、肝硬変、食道・胃静脈瘤、胆石症、膵炎、胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病、メタボリック関連疾患（脂肪性肝疾患）　等

検査・治療の一例

ラジオ波凝固療法（RFA）
内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）
ERCP/EUS関連手技
消化器悪性腫瘍に対する化学療法　等

感染症内科

感染症が発生した際には適切な治療をおこない、人々が安心して安全に暮らせるよう、最善の感染症診療を提供します。



主な受け入れ実績

新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、肺炎（結核、非結核性抗酸菌症含む）、腸炎、渡航感染症、寄生虫疾患

※感染症予防目的にワクチン外来も行っています。

消化器外科・小児外科・乳腺外科

患者さんお一人お一人に満足していただける最良、最善の治療を常に目指しています。



主な受け入れ実績

膵臓がん、肝臓がん、胆道がん、食道がん、胃がん、十二指腸がん、大腸がん、乳がん、その他の悪性腫瘍、炎症性腸疾患、小児外科関連疾患（食道閉鎖症、鼠径ヘルニア、臍ヘルニア等）　など

脳神経外科

～病気を診ずして病人を診よ～
病人のそばに立つ、全人的医療を目指しています。



専門外来

脳血管内治療、小児神経外科、下垂体腫瘍、脳腫瘍、脊椎脊髄外科、てんかん外科、パーキンソン病・不随意運動・難治性疼痛、赤ちゃんの頭のかたち外来

主な実績

手術実績数
年間約800件

心臓血管外科

我々のモットーは、
“質の高い外科治療の提供”です。

主な受け入れ実績

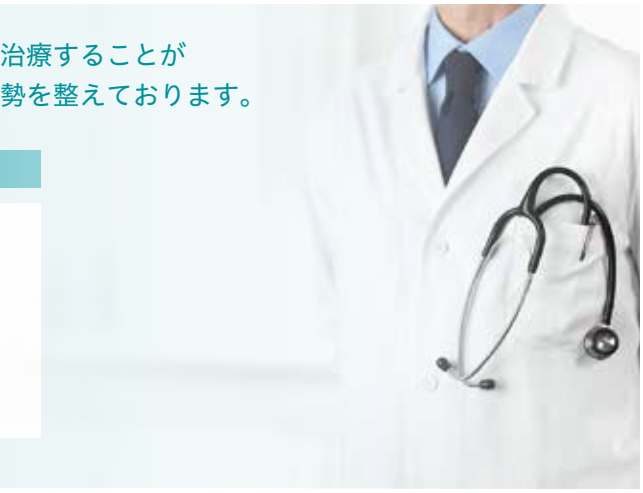
冠動脈疾患（心筋梗塞、狭心症）
弁膜疾患
血管疾患（大動脈、末梢血管）

治療の一例

低侵襲心臓手術、冠動脈バイパス術
弁置換術、修復術、人工血管置換術
ステントグラフト内挿術
静脈瘤（手術、硬化療法、レーザー治療）　等

整形外科

奈良県下のほかの病院では治療することが
困難な疾患に対する治療態勢を整えております。



専門診療班

足・足関節、股関節、膝関節、
手・マイクロサージャリー、肩・肘関節、脊椎、
骨軟部腫瘍、小児整形、四肢外傷、
スポーツ医学、リウマチ、骨粗鬆症、
末しょう神経障害、人工関節

眼科

目がよく見えるようになった患者さんの喜びが
私たち眼科医の喜びです。

主な受け入れ実績

白内障、
網膜硝子体疾患（糖尿病網膜症、加齢黄斑変性、
網膜剥離など）、
ぶどう膜炎、緑内障、角膜疾患、
斜視、弱視、眼腫瘍

検査・治療の一例

視力、眼圧、眼底、視野検査、
網膜断層撮影、網膜電図、
白内障手術、網膜硝子体手術、
斜視手術、腫瘍切除術、
硝子体内注射

小児科

未来を担う子どもたちの健康を守り、また、小児医療に対する多様な
ニーズに対応するべく教室員一同、日夜診療に励んでいます。



主な受け入れ実績

血友病、フォン・ヴィレブランド病等の出血・凝固異常症、
白血病等の血液・腫瘍疾患、血尿・蛋白尿等の腎疾患、
リウマチ等の膠原病、てんかん・神経筋疾患等の神経疾患
成長障害・思春期早発症等の内分泌疾患、
先天性心疾患等の循環器疾患、感染症　等

歯科口腔外科

口腔顎顔面全般にわたる多種多様な
疾患の治療に積極的に取り組んでいます。

主な受け入れ実績

口腔腫瘍、口腔顎顔面外傷、顎骨嚢胞、
口腔顎顔面再建、唇顎口蓋裂、顎関節疾患、
顎変形症、口腔粘膜疾患、口腔顎顔面インプラント、
歯科矯正、唾石症、抜歯、血液疾患患者の口腔管理、
口腔ケア

検査の一例

顎口腔機能検査、
唾液分泌検査、
口腔顎顔面領域の特殊画像検査

産婦人科

妊娠から小児期、思春期、性成熟期、更年期、熟年時代まで女性の生涯を
通してご支援をさせていただきたいと思います。

主な受け入れ実績

婦人科悪性腫瘍、子宮内膜症、子宮筋腫、
子宮腺筋症、卵巣嚢腫、帝王切開瘢痕部症候群、
不妊症、不育症、切迫早産、妊娠高血圧症候群、
胎児奇形、合併症妊娠

メディカルバースセンター

助産師による助産外来を中心に、
助産師とじっくりお話していただきます。
助産外来では産後のケアも担当いたします。

精神科・児童精神科

子どもから大人、老年までのライフステージにおける多様な精神疾患、身体疾患に伴う心の不調に多角的
評価に基づく診断と治療を提供します。

主な受け入れ実績

統合失調症、うつ病、双極症、自閉スペクトラム症、
ADHD、トゥレット症、知的障害、児童青年期精神疾患、
アルツハイマー病、レビー小体病、軽度認知障害、
不安症、強迫症、摂食障害、ギャンブル依存症

検査・治療の一例

精神療法、薬物療法、クロザピン、
修正型電気けいれん療法、画像検査、
心理検査、作業療法、デイケア、
リワーク、認知行動療法

皮膚科

皮膚がんに対して
集学的な治療ができる県内唯一の施設です。

主な受け入れ実績

重症薬疹、皮膚がん、水疱症、
薬・金属・紫外線などのアレルギー、
アトピー性皮膚炎、乾癬、皮膚感染症、脱毛症、
水疱症、白斑、膠原病、やけど、とこずれなどの
難治性皮膚創傷、悪性や良性の皮膚腫瘍

検査・治療の一例

センチネルリンパ節生検
皮膚アレルギーテスト
ダーモスコピー、エコー検査
レーザー治療、紫外線治療

泌尿器科

生体腎移植や献腎移植ができる
県内唯一の施設です。

主な受け入れ実績

前立腺癌、膀胱癌、腎癌、精巣腫瘍、副腎腫瘍、
前立腺肥大症、夜間頻尿、神経因性膀胱、
過活動膀胱、腹圧性尿失禁、骨盤臓器脱、
停留精巣、陰嚢水腫、膀胱尿管逆流症、
尿道下裂、精巣静脈瘤

検査・治療の一例

膀胱癌の光力学診断、
低線量率・高線量率小線源療法、
人工尿道括約筋植込術、血液透析、
腹膜透析、生体腎移植、献腎移植、
腎盂癌・尿管癌に対する腎温存治療



耳鼻咽喉・頭頸部外科

耳・鼻・咽頭・喉頭・頸部・甲状腺が担当範囲です。最新の医学的知識・技量を持って診断・治療にあたります。

専門外来

めまい・難聴センター、頭頸部外科マスター、
スポーツ平衡外来、難聴・補聴外来、難聴・耳鳴外来、
小児難聴外来、顔面神経外来、鼻副鼻腔・アレルギー外来、
頭頸部腫瘍外来、音声外来



放射線治療科

完全に治すための治療（根治治療）から痛みなどの症状を和らげる治療（緩和治療）まで、幅広く対応しています。

主な受け入れ実績

脳腫瘍、頭頸部癌、食道癌、肺癌、乳癌、前立腺
癌、子宮頸癌、悪性リンパ腫、骨腫瘍、軟部肉腫、
皮膚がん、甲状腺癌、前立腺癌の骨転移、
バセドウ病

治療の一例

強度変調放射線治療、定位放射線照射、
密封小線源治療、内用療法／核医学治療

麻酔科

周術期管理センターでは、多職種チームで、安全で質の高い
周術期医療を提供できるよう診療にあたっています。

主な業務

手術中の麻酔、術後の痛みの管理
ペインクリニックでの痛みの治療
集中治療室（ICU）での全身管理、救急医療

ペインクリニックの受け入れ実績

帯状疱疹関連痛、腰下肢痛、頸肩上肢痛、頭痛、
脳脊髄液減少症、顔面痛、末梢循環障害、
慢性疼痛

放射線・核医学科

あなたのご病気、カテーテルで治療できるかもしれません！
手術数は日本有数で、当科の高い技術は国内外から注目されております。

主な受け入れ実績

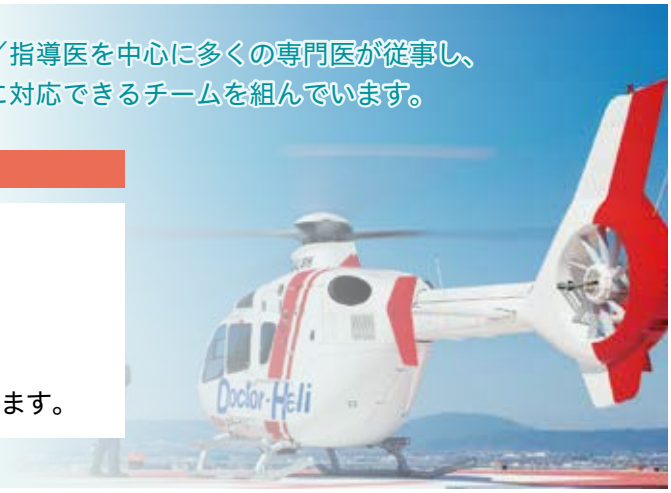
肝細胞癌、血管奇形、閉塞性下肢動脈硬化症、
大動脈瘤／解離、慢性運動器疼痛、子宮筋腫

治療の一例

血管内治療、カテーテル治療、
ステントグラフト内挿術、塞栓術、
骨セメント注入術、栄養カテーテル挿入術

救急科

日本救急医学会救急科専門医／指導医を中心に多くの専門医が従事し、
奈良県の重症病態、重症外傷に対応できるチームを組んでいます。



高度救命救急センター

全国に47カ所あり、県内では当センターのみで、
主として重症な症例の診療を行っています。
奈良県ドクターヘリの運航や奈良県広域消防組合と
連携してドクターカーを運用し、県内で発生した
緊急を要する病気やケガをした患者さんに対応しています。

総合診療科

原因のわからない症状や複数の病気を抱える患者さんに対し、総合的な診療を提供しています。必要に応じ
高度な専門医療へつなぎ、患者さん一人ひとりに寄り添い、最適な医療を提供します。

主な受け入れ実績

内科系疾患の全般、
膠原病・リウマチ性疾患（関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、血管炎症候群など）、
血栓・出血性疾患、不明熱、全身倦怠感、体重減少、意識障害、めまい症

病理診断科

診療各科との症例カンファレンス、キャンサーボードへの出席、がんパネル検査におけるエキスパートパネルの参加、
病理解剖症例の臨床病理カンファレンスを実施しています。病理診断に関して疑問などあればお気軽にご連絡ください。

主な受け入れ実績

全臓器の疾患に対応した病理診断
組織（約1万2,000件／年）
細胞（約8,400件／年）

検査の一例

生検組織診断、手術検体の病理組織診断、
術中迅速診断、細胞診、病理解剖

形成外科

ー良い形には、良い機能が宿るー
"Quality of Life" の向上に貢献する、外科系の専門領域です。

主な受け入れ実績

唇裂、手足の先天異常、先天性眼瞼下垂、耳介異常、あざ、
身体表面の外傷、顔面骨折・変形、やけど、きずあと、
皮膚潰瘍、巻き爪、皮膚癌、頭頸部癌の切除・再建、
乳房の再建（自家組織・インプラント）、顔面神経麻痺、
眼瞼下垂

治療の一例

組織再建、組織移植（皮膚・脂肪・
筋肉・骨・軟骨・神経）、
人工物移植、リハビリ

呼吸器外科

肺・気管・気管支・縦隔・胸壁・横隔膜などの胸部に関係する
疾患に対し、手術治療を中心に診療を行っています。



主な受け入れ実績

肺癌、肺腫瘍、縦隔腫瘍、胸膜疾患、気管・気管支疾患、
胸壁・横隔膜疾患、重症筋無力症

治療の一例

ロボット手術、胸腔鏡手術、開胸手術

リハビリテーション科

多職種チームによる運動学習・治療的訓練を実施して個々の QOL をその最大レベルに高めることを
目指します。

主な受け入れ実績

脳血管障害、運動器疾患、脊髄損傷、神経・筋疾患、切断、小児疾患、
リウマチ性疾患、循環器・呼吸器・腎臓・内分泌代謝疾患（内部障害）、がん、摂食嚥下障害、
周術期の身体機能障害の予防・回復

腎臓内科

腎臓病の診療には、医師だけではなく、看護師、管理栄養士、薬剤師など
多くのメディカルスタッフと協力してカンファレンスを行っています。

主な受け入れ実績

透析導入	100 例／年	（血液透析 80 例、腹膜透析 20 例）
ネフローゼ症候群	30 例／年	
血管炎	15 例／年	
その他の難病	20 例／年	
腎生検	100 例／年	

糖尿病・内分泌内科

2 型糖尿病、肥満症などの生活習慣病および全ての内分泌疾患、関連の指定難病に対応しています。

主な受け入れ実績

2 型糖尿病、高血圧、肥満症、1 型糖尿病、先端巨大症、クッシング病、プロラクチノーマ、
下垂体機能低下症、中枢性尿崩症、バセドウ病、橋本病、甲状腺炎、副甲状腺機能亢進症／低下症、
骨粗鬆症、原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫、性腺機能低下症、
多嚢胞性卵巣症候群　など

腫瘍内科

～新しいがん治療薬を見つけましょう～エビデンスに基づく治療を提供するだけでなく、副作用のマネジメントも行っています。



主な受け入れ実績

固形癌（胃癌、肺癌、大腸癌 等）全般の薬物療法、希少癌、原発不明癌

検査・治療の一例

がん薬物療法、がんゲノムプロファイリング検査、がん遺伝子パネル検査、
新規未承認薬の臨床試験（治験）も複数実施しています。

血液内科

患者さんがよりよく治療に専念して過ごせるように看護、栄養、リハビリ、緩和ケアなど多職種のスタッフと共に診療にあたっています。



主な受け入れ実績

急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病
慢性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、悪性リンパ腫、
多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群、骨髄増殖性腫瘍、
再生不良性貧血、自己免疫性溶血性貧血、
免疫性血小板減少症、血栓性血小板減少性紫斑病

地域医療連携の推進

当院は「特定機能病院」です。治療を受けるには、地域の医療機関（かかりつけ医）から紹介を受け、受診することが基本となっています。

また、病状が安定した患者さんは、紹介元のかかりつけ医や地域の医療機関にご紹介（逆紹介）します。

病気になった時、ちょっとした健康の心配があった時、かかりつけ医に相談することで、一般診療で対処可能なものか、専門診療が必要なのか、医学的に判断してもらえます。これにより、適切な診断のもと、適切な時期に、最適な診療を受けられるよう、大学病院に紹介していただくことができます。

体調に不安を感じた時は、まずは、お近くのかかりつけ医にご相談ください。

中央部門等のごあんない



中央臨床検査部

血液や尿の分析、心臓や脳の機能などの様々な検査を行い、病気の診断に必要な情報を迅速かつ正確に提供しています。
年間700万件以上の検査を行うことで、診療・治療を支えています。

輸血部

迅速かつ安全・安心な輸血療法を行うために、自己血を含めた輸血製剤・血漿分画製剤の一元管理を365日24時間体制で行っています。
安全な輸血療法が行えるように、検査を行い、一人一人に適合した血液製剤を供給しています。

中央手術部

15室（うち1室はハイブリッド手術室）の手術室を運用しています。
消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、小児外科を含め、多彩な手術を行っています。また麻酔科医が常駐し、重症な患者さんの手術にも24時間対応しています。

集中治療部

人工呼吸器による呼吸管理、人工心肺を使用した循環・呼吸管理、ペースメーカーや強心剤を使った循環管理、血液透析や血漿交換による体液管理など、一般の病棟では行うことが困難な高度な治療を24時間365日体制で行なっています。

中央放射線部

CT・MRI・X線などを使った画像診断に加え、放射線治療やIVR（画像下治療）を通して、患者さん一人ひとりに合わせた医療をご提供しています。これらの検査や治療は、医師と診療放射線技師・看護師等のメディカルスタッフが連携しながら、安全で丁寧なケアを心がけています。皆さまに安心して治療を受けていただけるよう、スタッフ一同日々取り組んでおります。

中央内視鏡部

消化管（咽頭、食道、胃、十二指腸、小腸、大腸）、膵臓、胆道（胆嚢、胆管）、肺、縦隔などの幅広い領域で内視鏡を用いた検査や治療を年間約10,000件行っています。消化器内科、消化器外科、呼吸器内科等との協力や緊密な連携のもと、最新の知見や技術を積極的に取り入れた先進的内視鏡診療を行っています。

透析部

奈良県内の透析施設のセンター的役割を担っています。末期腎不全の患者さんの透析導入を行うとともに、奈良県で約3,600人いる維持透析患者さんが合併症で入院された時は、担当科とともに透析管理をしています。透析以外にも種々の疾患に対する血液浄化療法を行っています。

病院病理部

患者さんの身体から採取あるいは排出された組織・細胞、さらには臓器を顕微鏡で観察し診断を行っています。病院病理部は、この診断が適切に行われるための標本作製に携わっています。主に組織診断、細胞診断という業務に分かれており、これらの業務を通じて得られた検体情報の保護や臨床像や画像診断から疑われた病名を確定するための「医療の精度管理」の一端を担っています。

医療情報部

医療情報部長である医師を中心に、看護師、薬剤師、技師などの医療系スタッフと事務系スタッフの合わせて約40名から組織されています。
総合医療情報システムの管理・運営と診療情報管理業務を通じ、安心・安全でスムーズな医療の提供に、寄与していきたいと考えています。

入退院等支援部

地域連携・入退院支援センター
　患者さんが、住み慣れた地域で過ごすために、地域との架け橋となって地域連携をサポートします。
在宅医療支援センター
　かかりつけ医をはじめ、在宅医療に関わる皆さまの取り組みをサポートします。

総合周産期母子医療センター

母体・胎児集中治療部門
　奈良県の周産期医療の最後の砦として、集中的に母児の安全を守る医療体制を提供しています。
新生児集中治療部門
　NICU、GCUを有しており、奈良県下で出産された赤ちゃんの集中治療から退院に向けてのサポートを行なっています。奈良県の新生児医療の最終防衛ラインとして、早産児、新生児疾患、先天性疾患や遺伝性疾患のお子さんの治療を行う専門施設です。

緩和ケアセンター

病気を抱える患者さんとご家族の生活の質（Quality of Life）の維持・向上を目指し、身体的苦痛や気持ちのつらさなど複雑に絡まりあう様々な苦痛へのケアを行います。
入院中は「緩和ケアチーム」による病棟回診、外来通院時には「緩和ケア外来」への受診で対応しています。

移植細胞培養センター

CPC（Cell Processing Center）では、再生医療に関する基礎研究や、造血幹細胞や治験製品の調整・処理・保管、並びに輸血用血液製剤等の調整を行っています。

遺伝医療センター

遺伝医療センターでは、遺伝や体質が関係する様々な相談に対して、遺伝に精通した医師や認定遺伝カウンセラーが、より良い解決法を見いだせるようサポートさせていただきます。また、必要があれば遺伝子などの検査を行い、病気の確定診断や治療、発症の予防につなげています。

がん相談支援センター

がん相談支援センターは、専門の相談員（医療ソーシャルワーカー、看護師）が患者さんやご家族のお話を伺い、困りごとの解決のサポートをさせていただくところです。病気になると身体のことばかりでなく、さまざまな生活上の心配が生じます。そのような時はお一人で考え込まず、どうぞお気軽にお立ち寄りください。まずは皆さんのお話をお聞きしながら、不安やお困りごとの整理をお手伝いし、それらの解決策を皆さんと一緒に考えさせていただきます。相談は無料となっており、奈良県立医科大学附属病院で診療を受けていない方でもご利用いただけます。

リウマチセンター

関節リウマチをはじめとするリウマチ性疾患・膠原病の治療は、近年の新たな薬物療法の登場により飛躍的に進歩しています。当センターは、全国でも数少ない整形外科と内科（総合診療科、各専門内科）が密接に連携して運営している施設であり、併存疾患や合併症を有する患者様にも総合的で質の高い診療を提供しています。また、リウマチケア看護師をはじめとする多職種が協力し、患者さん一人ひとりに最適なケアをお届けする体制を整えております。

睡眠医療・呼吸管理センター

令和７年９月１日開設
閉塞性睡眠時無呼吸の治療である植込型舌下神経刺激療法等睡眠関連疾患の治療や呼吸管理を、診療科医横断･他職種連携体制で実施します。

薬剤部

患者さんに安全な薬物療法を受けていただくために、調剤だけでなく、入院患者さんへの薬の説明や医師、看護師などと共にチーム医療に参加し、専門性を活かしています。
より良い治療のために、お薬は、決められた用法、用量を正しく守ってお使いください。

看護部

当院では1,000人以上の看護師が活動しており、状況の変化に柔軟に対応し、変革と挑戦によって、安全で安心できる真心を込めた看護を提供します。
看護師がかける言葉、むける笑顔、温かい手で行うケアにより一瞬でも患者さんが「しあわせ」を感じることができる看護を大切にしています。

栄養管理部

栄養管理は、すべての疾患に共通する基本的な医療です。当院では、多職種が連携するチーム医療のもと、一般食をはじめ、病態に応じた治療食や乳児用ミルクを提供しています。また、離乳食や治療食、咀嚼機能に合せた食事など、多岐にわたる栄養相談を行い、患者さん一人ひとりに最適な栄養サポートを実践しています。

医療クラーク部

医師の診療支援を行う事務部門です。
医師の働き方改革のため、医師の事務作業を支援しています。

臨床研修センター

当院は、厚生労働大臣より、基幹型臨床研修病院に指定されており、次世代の医療を担う臨床研修医の育成に取り組んでいます。
全病院的な指導体制を基に、研修医がきめの細かい指導を受けられるよう運営・管理を行っています。

医療技術センター

医療技術センターは、国家資格（一部認定資格）を持つ９職種の医療技術専門職128名（令和８年４月１日現在）で構成されています。
当センターは、チーム医療の推進を図り所属職員を一元的に組織し、効率的かつ適切な人員配置を行い円滑な診療支援並びに患者サービスの向上を目的としています。

臨床工学1-5係

臨床工学技士により構成されています。透析室、内視鏡、人工呼吸器、心臓カテーテルに携わり、機器管理も行っています。周術期には集中治療室、麻酔補助や手術での人工心肺業務を行い、院内幅広く活動しています。

医療技術係

歯科衛生士、歯科技工士、視能訓練士、言語聴覚士、公認心理師/臨床心理士、遺伝カウンセラーの６つの専門職が所属しています。配属先は口腔外科、周術期管理センター、眼科、耳鼻科、精神科、緩和ケアセンター、発達外来、小児/周産期など広きに渡り、それぞれが医療チームの一員として協働しています。

リハビリ1-3係

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士により構成されています。職種毎に係があるのではなく、それぞれの係で病棟を担当しています。3職種が１つの係において情報共有を行い、お互いを理解し、チーム医療として質の高いリハビリテーションの提供に努めています。

臨床研究センター

「病気に苦しむ患者さんに、【次の一手】となる新しい薬や治療法をお届けしたい。」そんな思いから、研究者のみならず、研究に参加される患者さんやご家族をサポートしながら、臨床研究を円滑かつ安全に行えるよう支援しています。

医療の質・安全管理センター

「高度医療を支える、患者も職員も安心できる医療安全」を方針とし、全職員が医療安全を自らの課題としてとらえ、積極的に取り組める組織づくりに努めています。

感染管理室

医師や看護師、薬剤師、臨床検査技師、事務員で構成しており、チーム医療を推進しています。患者さんと接する職員が感染防止のための行動を取れるように、感染防止の推進と、抗菌薬の適正使用の強化に取り組んでいます。患者さんや付き添いの方も、病院の中では、手洗いや手の消毒を行っていただき、また混雑する外来などでは、マスクの着用のご協力をお願いします。

高度生殖医療センター

妊娠を希望される方に最新の知識と技術を用いて治療させていただきます。妊娠中にトラブルが起こらないようにさまざまな予防を行いながら治療を行ってまいります。

病院事務部

附属病院の運営・管理、経営マネジメント等を行い、来院される皆様に安心、快適な環境をご提供しています。附属病院での診療が円滑に行われるように、様々なサポートを担当しています。

質の高い高度な医療を提供するために、「チーム医療」に取り組んでいます。

栄養サポートチーム〈NST〉

活動概要

患者さん一人ひとりの栄養状態や病状に応じた適切な栄養管理を、多職種が連携してサポートしています。

呼吸サポートチーム〈RST〉

活動概要

人工呼吸器装着患者さんの安全管理を目的として活動しています。人工呼吸器装着の助言、教育、標準化、安全管理に取り組みます。

緩和ケアチーム

活動概要

病気を抱える患者さんとご家族の生活の質（Quality of Life）の維持・向上を目指し、身体的苦痛や気持ちのつらさなど複雑に絡まりあう様々な苦痛へのケアを多職種で行います。

褥瘡対策チーム

活動概要

褥瘡は一般的に「床ずれ」とも呼ばれています。チームでは、褥瘡発生予防・早期治療を目指して活動しています。

認知症ケアチーム

活動概要

認知症やせん妄のある患者さんが、安心して入院生活を送り、退院後の生活につながるよう、環境や関わり方を多職種で考え、支援しています。

排尿ケアチーム

活動概要

尿道留置カテーテルを、1日でも早く抜去し、尿路感染を防止するとともに、排尿自立の方向に導くことを目的に活動しています。

きめ細かい医療を提供するために…

医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・診療放射線技師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士・臨床工学技士・医療ソーシャルワーカーなどの多職種が連携しています。

各チームの詳細は
当院のホームページをご確認ください

術後疼痛管理チーム〈POCS 回診〉

活動概要

術後の疼痛管理のため、PCA（自己調節鎮痛法）を使用しています。鎮痛が適切に行われているか、副作用や合併症のフォローを行っています。

リエゾンチーム

活動概要

「ちょっと相談してみようかな」そんなときにリエゾンチーム。入院中の不安や眠れない、気持ちが落ち着かないなど、こころの困りごとを、医師・相談員・看護師が一緒に考えます。

身体拘束最小化チーム

活動概要

患者さんの尊厳を守り、安全な医療・ケアを行うために、多職種で構成されたチームが身体拘束の必要性や代替手段を十分に検討し、必要最小限にするために活動しています。



2025–2026 Pick up Topics



奈良県立医科大学　開学 80 周年を迎えました



睡眠医療・呼吸管理センター



遺伝医療センター



令和 8 年熊本地震 DMAT 派遣



令和 8 年熊本地震 DPAT 派遣

働き方改革の取り組みと
ご理解・協力のお願い

医師の働き方改革は、医師が健康に働き続けられるよう環境を整備することで、
医療の質・安全を確保し、持続可能な医療提供体制を維持していくための取り組みです。
医師の健康確保は、患者さんが受ける医療につながっています。

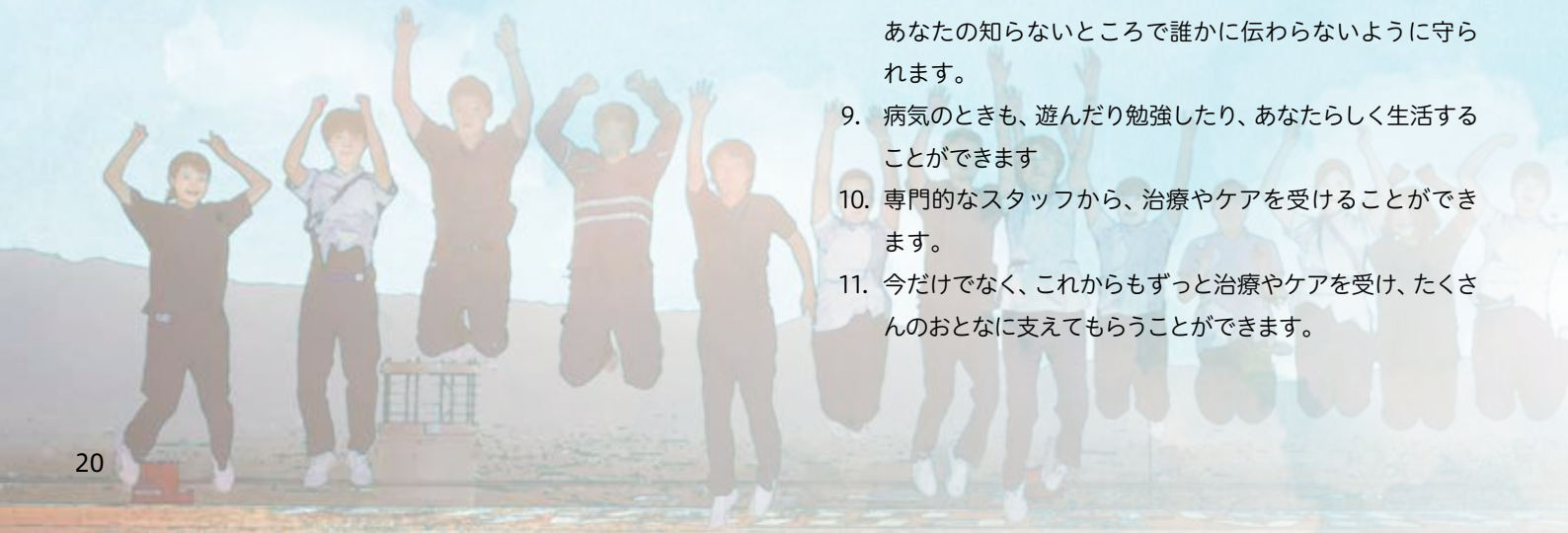
患者さんの権利・患者さんへのお願い

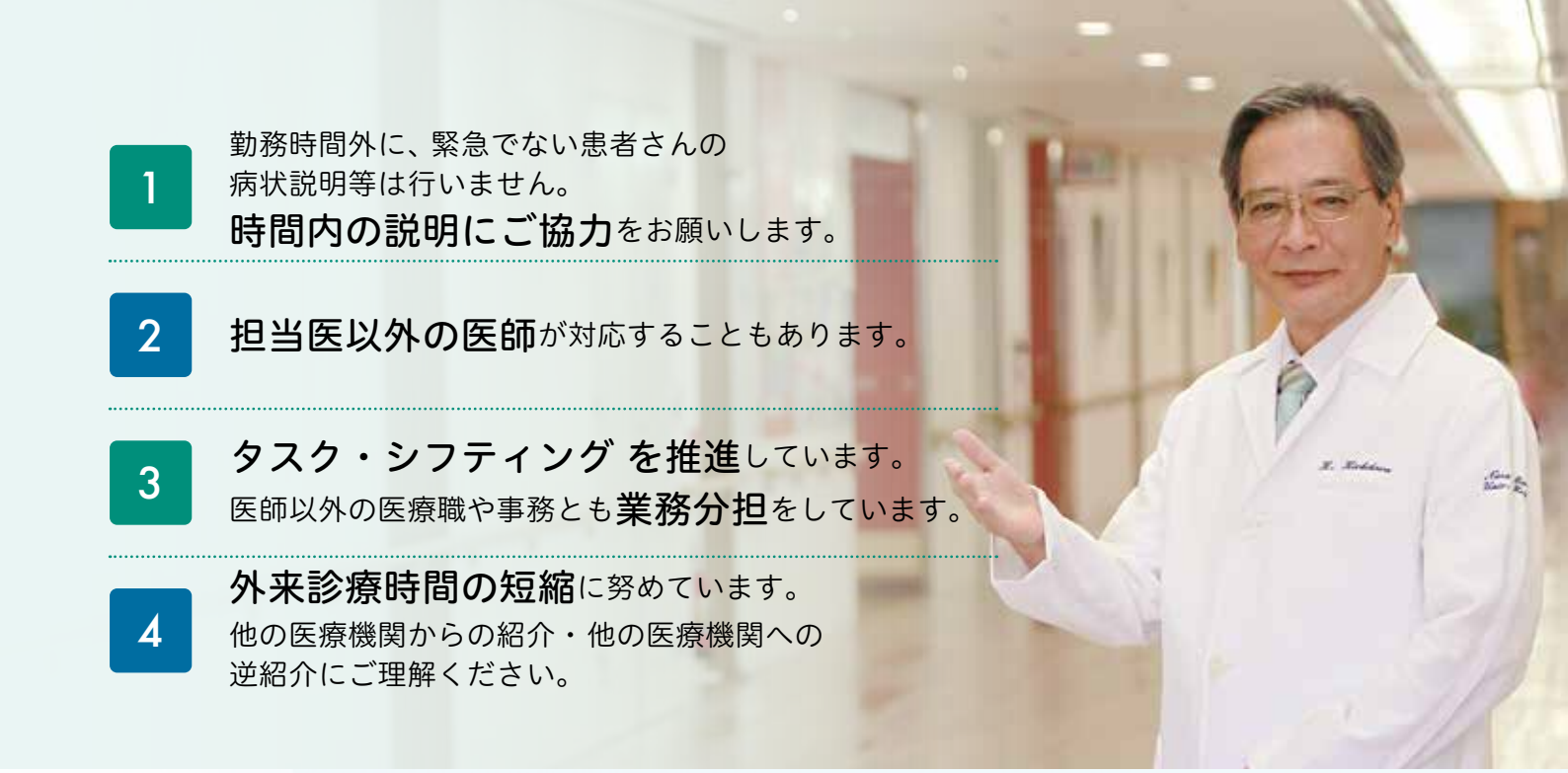
患者さんの権利

1. 個人としての人格や意思が尊重され、誰しもが安全で質の高い医療を平等に受ける権利があります。
2. 自分の病気や治療に関して、理解できるまで十分な説明を受けたり、また診療録等に記録された自己の診療内容について情報提供を求めたりする権利があります。
3. 自ら受ける治療等に関し、自らも意見を表明し、その意思に基づいて治療方針等を選択する権利があります。
4. 医療に関する個人情報やプライバシーは厳正に保護されます。
5. 医療機関を自由に選択する権利及び他の医療機関の医師の意見（セカンド・オピニオン）を求める権利があります。

こども憲章（けんしょう）

1. 人として大切にされ、あなたらしく生きる権利をもっています。
2. あなたにとって１番良い治療やケアをいつも考えてもらうことができます。
3. 安心・安全な環境で、できるだけ不安がなく怖くないやり方で治療やケアが受けられます。
4. 病院では、家族や大切な人と、できるだけいっしょにいることができます。
5. あなたの気持ち・希望・意見を伝えることができ、できるだけ希望どおりになるように努力してもらえます。
6. あなたの病気や治療について知りたいことや、あなたの希望どおりにならないことがあれば、あなたにとって分かりやすいことばや方法で説明してもらうことができます。
7. 病気や障がいを理由に、こころやからだを傷つけられることから守られます。
8. あなたのからだや病気のこと、知られたくない秘密は、あなたの知らないところで誰かに伝わらないように守られます。
9. 病気のときも、遊んだり勉強したり、あなたらしく生活することができます
10. 専門的なスタッフから、治療やケアを受けることができます。
11. 今だけでなく、これからもずっと治療やケアを受け、たくさんのおとなに支えてもらうことができます。





1. 勤務時間外に、緊急でない患者さんの病状説明等は行いません。**時間内の説明にご協力**をお願いします。
2. **担当医以外の医師**が対応することもあります。
3. **タスク・シフティング を推進**しています。医師以外の医療職や事務とも**業務分担**をしています。
4. **外来診療時間の短縮**に努めています。他の医療機関からの紹介・他の医療機関への逆紹介にご理解ください。

来院される際に守っていただきたいこと

1. 敷地内は全面禁煙となっています。ご理解ご協力をお願いします。
2. 携帯電話は、院内ではマナーモードに設定していただき「携帯電話禁止エリア」マークのある場所では電源をお切りください（病室個室を除く。）。通話は「携帯電話通話エリア」マークのある場所でお願いします。
3. 患者さんや職員のプライバシー及び病院内における個人情報を保護するため、病院の施設及び敷地内でのカメラ・デジタルカメラ・ビデオカメラ・スマートフォン・携帯電話等による撮影・録音について、特定の場合を除き原則禁止しています。また、撮影した画像等のＳＮＳ等への掲載についてもルールを定めています。

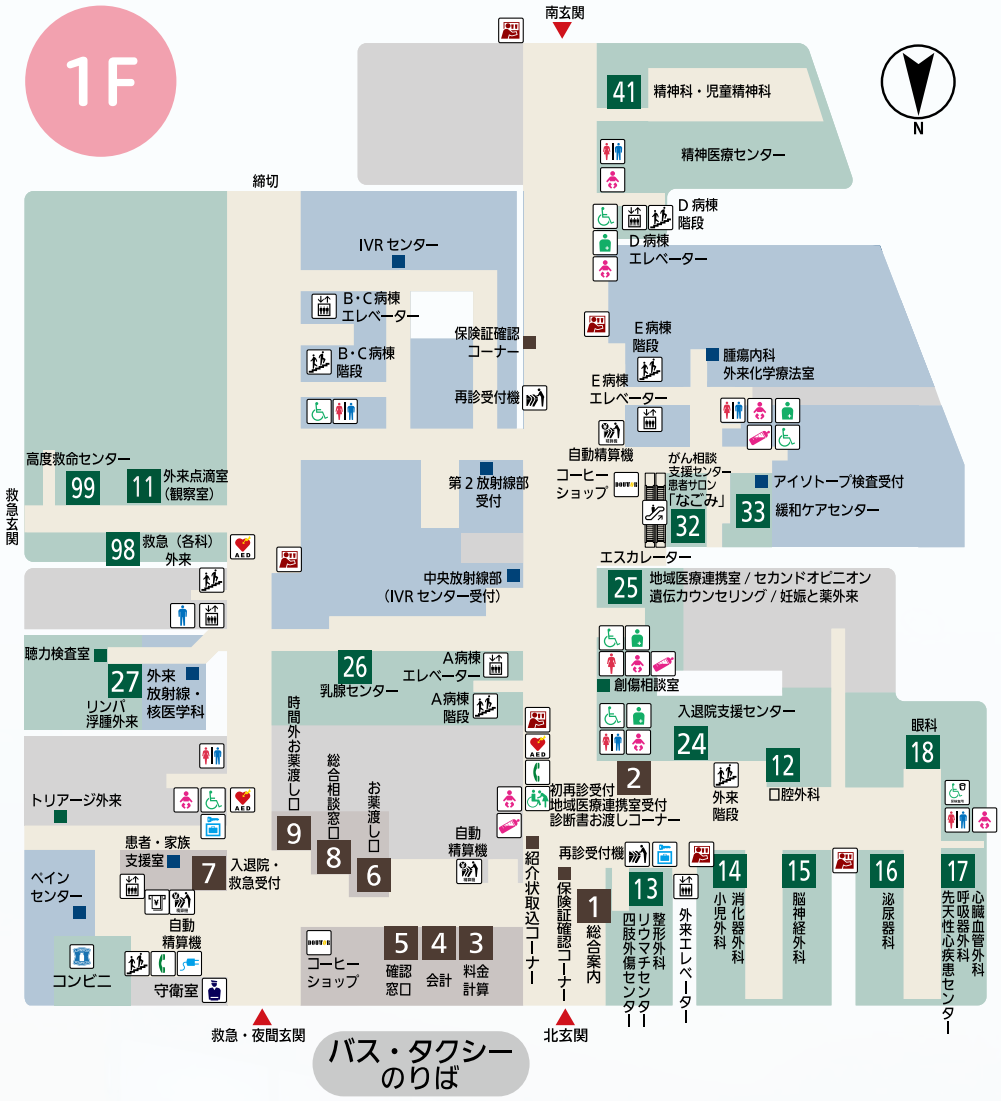


患者さんへのお願い

1. 適切な治療を行うために、ご自身の健康状態や過去の治療内容等について医師や医療従事者に正確にお伝えください。
2. 医療に関する説明を聞き、十分理解し納得した上で検査や治療を受けてください。理解できない場合は、納得できるまでお尋ねください。
3. 病院の規則や治療上必要な指示・助言はお守りください。他の患者さんも気持ちよく治療が受けられるよう、他の患者さんの権利も尊重し、迷惑となるような行為は行わないでください。暴言・暴力行為などの迷惑行為があった場合には、診療をお断りしたり、警察に通報させていただくこともあります。
4. 医療費の自己負担分は、必ずお支払いください。
5. 当院は、教育機関である大学病院であることから教育実習を行っています。未来を担う医療人を育成するため、ご理解とご協力をお願いします。
6. 当院は大学病院として多くの重症な患者さんを治療していく使命を負っています。このため、病状が安定された等の場合に、他の医療機関へご紹介することとしておりますので、ご理解をお願いします。

皆様方のご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます

1F



- 再来受付機
- 自動精算機
- ATM
- 守衛室
- 電　話
- 自販機コーナー
- 充電コーナー
- お手洗い
- 車いす用トイレ
- オストメイト
- ベビーコーナー
- 授乳室
- ボランティアコーナー
- エレベーター
- 階　段
- エスカレーター
- コンビニ
- コーヒーショップ
- AED/自動体外式除細動

1 総合案内
2 初再診受付
地域医療連携室受付
診断書お渡しコーナー
3 料金計算
4 会計
5 確認窓口
6 お薬渡し口
7 入退院・救急受付
8 総合相談窓口
9 時間外お薬渡し口
11 外来点滴室（観察室）
12 口腔外科
13 整形外科
リウマチセンター
四肢外傷センター
14 消化器外科
小児外科
15 脳神経外科
16 泌尿器科
17 心臓血管外科
呼吸器外科
先天性心疾患センター
18 眼科
24 入退院支援センター
25 地域医療連携室
セカンドオピニオン
遺伝カウンセリング
妊娠と薬外来
26 乳腺センター
27 リンパ浮腫外来
32 がん相談支援センター
患者サロン「なごみ」
33 緩和ケアセンター
41 精神科・児童精神科
98 救急（各科）外来
99 高度救命センター

院内サービスのご紹介

来院者向け公衆無線 LAN サービスを提供しています。

詳細はホームページでご確認ください。

利用場所	外来待合及び病棟
利用時間	午前 6 時～午後 10 時
SSID	Naraidai-Free-WiFi
パスワード	なし

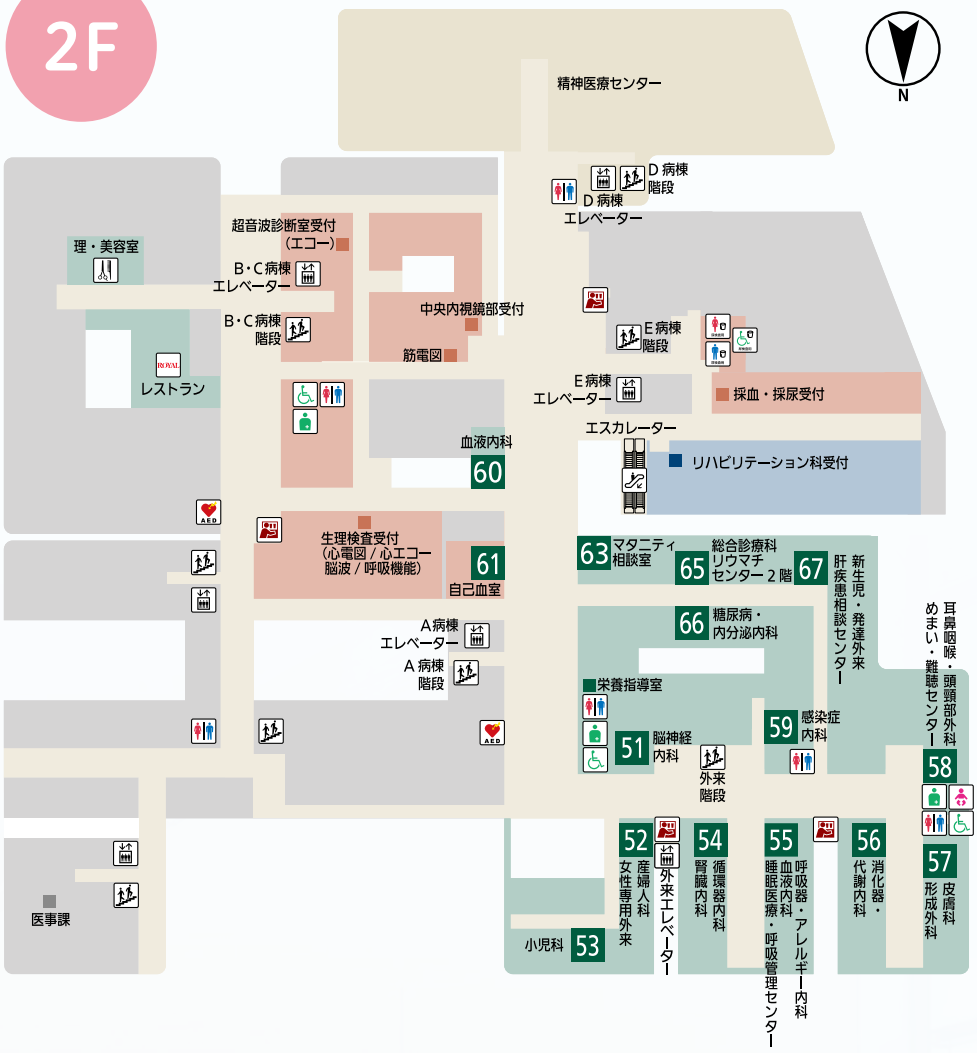


1F　コーヒーショップ（2 か所）



1F　コンビニ

2F



51 脳神経内科
52 産婦人科
女性専用外来
53 小児科
54 循環器内科
腎臓内科
55 呼吸器・
アレルギー内科
血液内科
睡眠医療・
呼吸管理センター
56 消化器・
代謝内科
57 皮膚科
形成外科
58 耳鼻咽喉・
頭頸部外科
めまい・
難聴センター
59 感染症内科
60 血液内科
61 自己血室
63 マタニティ
相談室
65 総合診療科
リウマチセンター2階
66 糖尿病・
内分泌内科
67 新生児・
発達外来
肝疾患相談センター

お手洗い	階　段	理・美容室
車いす用トイレ	エレベーター	AED/自動体外式除細動
オストメイト	エスカレーター	
ベビーコーナー	自販機コーナー	
電　話	レストラン	

202604



2F　レストラン



2F　理美容室

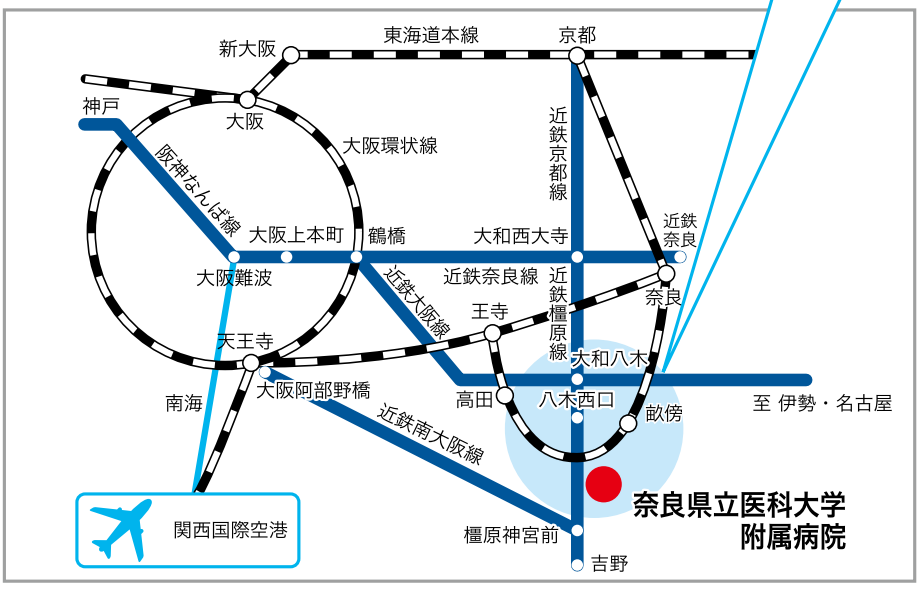


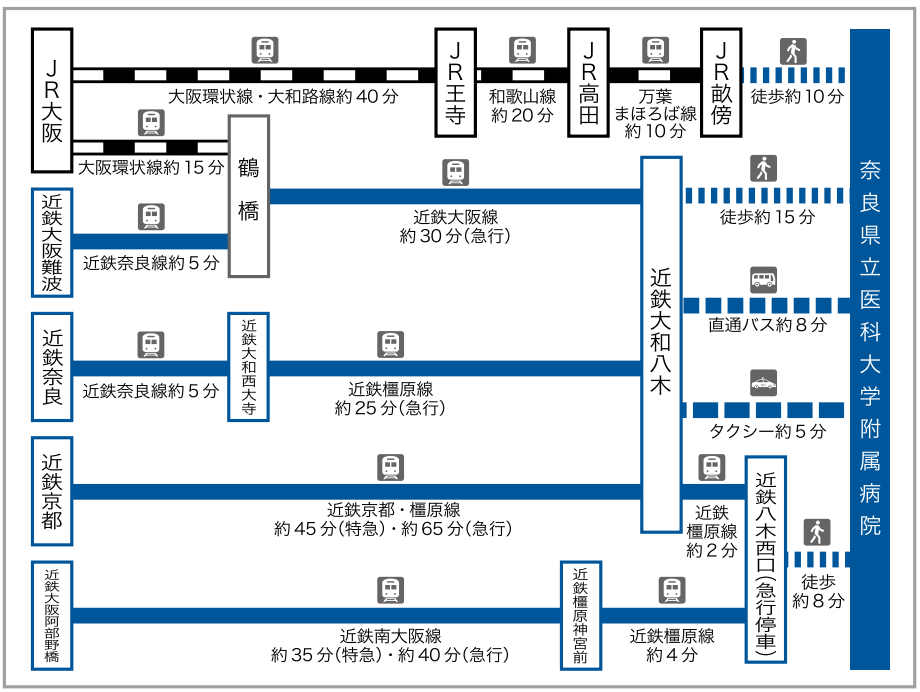
しょうとくた医師くん

姓は「しょう」、名は「とくた」、職業は「医師」で、特技は10人を同時に 聴診することです。

「しょうとくた医師くん」は、奈良県立医科大学の位置する奈良県飛鳥地方にゆかりのある聖徳太子をモチーフとし、歴史上数々の偉業を成し遂げ、高齢者や病気の方の救済にあたった四箇院を建立したとされる聖徳太子と、奈良県の医療に大いに貢献する奈良県立医科大学をかけあわせたキャラクターです。







所 在 地　〒634-8522　奈良県橿原市四条町840番地

電話番号　0744-22-3051（代表）※番号非通知はつながりません